



平成 30 年 1 月 25 日

各 位

会 社 名 ピクスタ株式会社
代表者名 代表取締役社長 古俣 大介
(コード：3416、東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 恩田 茂穂
(TEL. 03-5774-2692)

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年平成 29 年 2 月 24 日付で公表いたしました平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 2,413	百万円 48	百万円 47	百万円 4	円 銭 1.79
今回修正（B）	2,231	2～27	8～33	△20～0	△9.27～0.00
増減額（B－A）	△182	△46～△21	△38～△13	△24～△4	—
増減率（％）	△7.5%	△95.0%～ △43.8%	△81.8%～ △28.8%	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 12 月期）	1,758	155	155	100	45.22

2. 修正の理由

当社グループは当事業年度を「積極投資の年」と位置づけ、既存の国内 PIXTA 事業を継続的に伸ばしつつ、昨年着手した新規事業の成長加速と新たな投資による事業機会の拡大に挑戦してまいりました。

その中で、既存の国内 PIXTA 事業については「定額制販売の強化」を重点施策と位置づけ、5月に「少量定額プラン」の提供を開始し、新たな顧客層の獲得に努めてまいりました。その結果、少量定額プランのユーザーは順調に拡大しましたが、単品販売および既存の定額プランからユーザーの移行による顧客単価の低下が見られたことから、前回予想の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を下回る見込みとなりました。

なお、この件への対策として、ユーザーへの影響を考慮しつつ慎重な検討を重ねたうえで、12月に新規ユーザーを対象とした少量定額プラン価格の値上げを実施いたしました。

今後も最適な商品・価格戦略を検討しながら、国内 PIXTA 事業における売上拡大を目指してまいります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

※平成 29 年 12 月期決算短信は平成 30 年 2 月 14 日に開示予定であります。

以上